



World Oceans Day：授業アイデア（簡単版）

世界海洋デーをテーマにした英語の授業アイデア 2本

Class _____

No. _____

Name _____

1. 海の数字クイズ：70%・96.5%・50%

中学・20分

🎯 数字とパーセントの英語を使いながら、海の大切さを知る。

1. 黒板に 70%, 96.5%, 50%, 30% を書き、何の数字が英語で予想させる。
2. 答え合わせ（地球の表面、地球の水、酸素、二酸化炭素）をし、The ocean ... percent of ... の文で言う。
3. グループで、いちばん驚いた数字と理由を英語で1文書いて発表する。

2. 海の日と世界海洋デー：ポスターで比較

高校・45分

🎯 2つの記念日の由来と目的をくらべ、英語のポスターにまとめる。

1. 海の日（1876年の明治丸、1996年祝日化）と世界海洋デー（1992年の地球サミット、2008年の国連決議）の資料を読む。
2. Who started it? / Why? / What do people do? の3点を表にまとめる。
3. 海外の人に日本の海の日を紹介する英語ポスターを作り、ギャラリーウォークで読み合う。



1. 海の数字クイズ：70%・96.5%・50%

授業手順書（詳細版）／対象：中学／20分

Class _____ No. _____ Name _____

🎧 ねらい

70%・96.5%・50%・30%が海の何を表す数字かを知り、The ocean ... percent of ... の文で言える。いちばん驚いた数字とその理由を英語で1文書いて発表できる。

📋 準備

- 数字カード4枚（70%・96.5%・50%・30%）を黒板にはれる大きさで
- 答えの絵カード4枚（地球・水のしずく・O₂・CO₂）
- このサイトの英語ページ本文 Half of Every Breath の音声（第1・第2段落）
- グループに1枚の発表用紙（The most surprising number is ____ because ____ の型）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	今日が世界海洋デー（6月8日）の話であることを伝え、黒板に 70%, 96.5%, 50%, 30% を書く。数字の読み方（seventy percent / ninety-six point five percent など）を全員で言ってから、どれも海に関係する数字だと伝え、何の数字かをペアで予想させる。	数字を英語で読み、何の数字かをペアで予想する。	"June 8 is World Oceans Day." "Look at these numbers. Let's read them together." "All of them are about the ocean." "What do they mean? Guess with your partner."
展開1	6	絵カードを1枚ずつ見せて答え合わせをする。70%は地球の表面をおお割合、96.5%は地球の水のうち海にある割合、50%は海で作られる酸素（少なくとも半分）、30%は人間が出す二酸化炭素を海が吸いこむ割合。1つごとに The ocean ... percent of ... の文を板書し、全員でリピートさせる。英語ページ本文では水の割合が about 97 percent と丸めて書かれていることにもふれる。	答えを確かめ、4つの文をリピートする。	"The ocean covers more than 70 percent of the Earth." "It holds about 96.5 percent of the water on Earth." "At least 50 percent of our oxygen comes from the ocean." "The ocean takes in about 30 percent of the carbon dioxide from people." "Repeat after me."
展開2	6	英語ページ本文の第1・第2段落を音声で聞かせ、数字が出てきたら手を挙げさせる。そのあとグループで、いちばん驚いた数字を1つ選び、The most surprising number is ____ because ____ の形で理由を英語で1文書かせる。理由が日本語でしか出ないグループには、先生と一緒に英語にする。	音声を聞いて数字を確かめる。グループでいちばん驚いた数字を選び、理由を英語で1文書く。	"Listen. Raise your hand when you hear a number." "Which number surprised you the most?" "Write one sentence with 'because.'" "For example, the most surprising number is 50 percent, because I didn't know the ocean makes oxygen."
まとめ	4	各グループが書いた1文を発表する。どの数字がいちばん多く選ばれたかを数えて黒板に書く。最後にあいさつ Every second breath comes from the ocean. (2回に1回の呼吸は海から) を全員で言って終える。	グループの1文を発表し、ほかのグループの理由を聞く。	"Group 1, please read your sentence." "Many groups chose 50 percent." "Every second breath comes from the ocean. Say it with me."

📌 板書例

🌐 World Oceans Day (June 8)

70% → the Earth's surface (地球の表面)
 96.5% → the water on Earth (地球の水)
 50% → oxygen (酸素・少なくとも半分)
 30% → carbon dioxide from people (人が出す二酸化炭素)

The ocean covers more than 70 percent of the Earth.
 At least 50 percent of our oxygen comes from the ocean.

The most surprising number is ____ because ____.

読み方：96.5 = ninety-six point five

✅ 評価のポイント

- 4つの数字が海の何を表すかを英語の文で言えたか。
- percent や小数 (point) を正しく読めたか。
- いちばん驚いた数字の理由を because を使って書けたか。

👉 つまづきへの手だて

- 数字が読めない生徒には、70 = seventy, 96.5 = ninety-six point five のように読み方をカタカナでなく英語で横に書いたカードを渡す。
- 文が書けない生徒には、because のあとに I didn't know ____ の型を示し、空所に語句を入れさせる。
- oxygen / carbon dioxide の発音がむずかしい生徒には、英語ページの音声を 0.8x でくり返し聞かせる。

🌟 発展

- 記事のほかの数字（大きな魚の約90%が大きく減った、サンゴ礁の50%がすでに失われた、いちばん深いところは約1万935メートル）も同じ形でクイズにする。
- 基本セット p.2 の True or False (The ocean covers less than half of the Earth. など4問) に取り組む。
- 基本セット p.4 のクロスワード (OCEAN・OXYGEN・CORAL など8語) に取り組む。

📖 使う教材

- このサイトの英語ページ本文 Half of Every Breath と音声（第1・第2段落）
- 基本セット p.2 (True or False)
- 基本セット p.4 (クロスワード)



2. 海の日と世界海洋デー： ポスターで比較

授業手順書（詳細版）／対象：高校／45分

Class

No.

Name

ねらい

日本の海の日と世界海洋デーの由来と目的を、Who started it? / Why? / What do people do? の3点で比べて表にまとめる。海外の人に日本の海の日を紹介する英語ポスターを作り、読み合って質問やコメントを返せる。

準備

- 資料プリント2枚（記事の「由来」「日本と海」の節から：海の日＝1876年に明治天皇が明治丸で航海し7月20日に横浜に着いたこと・1941年に海の記念日・1996年に国民の祝日・2003年から7月の第3月曜日／世界海洋デー＝1992年の地球サミットでカナダが提案・2008年12月5日の国連決議63/111・2009年から国連の公式の日）
- このサイトの英語ページ本文 Half of Every Breath（第3・第4段落）と会話の印刷
- 3点の比較表のワークシート（Who started it? / Why? / What do people do?）
- ポスター用の画用紙（B4程度）・マーカー・付せん

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	「海の日は何月?」「6月8日は何の日?」と聞く。英語ページの会話のうち、ソウタとオリビアが海の日について話す部分を聞かせ、世界海洋デーと海の日とは別の日であることに気づかせる。国土交通省によると、海の日を国の祝日している国は日本だけであることを紹介する。	2つの日について知っていることを言い、会話を聞いて2つの日が別の日だと知る。	“When is Marine Day in Japan?” “What is June 8? It's World Oceans Day.” “Listen to Sota and Olivia. Are they the same day?” “Japan may be the only country with a national holiday for the sea.”
展開1	12	資料プリントと英語ページ本文の第3・第4段落を読ませ、2つの日を3点で表にまとめさせる。Why? の欄では、海の日が明治丸の航海の記念であること、世界海洋デーは1987年の国連の委員会の報告で海の問題には「強い声」が足りない指摘されていたことを手がかりにさせる。What do people do? の欄は、世界海洋デーは海岸のごみ拾いや学習会、海の日では会話の many people just go to the beach and swim を手がかりにさせる。	資料を読み、2つの日の比較表を英語の語句で埋める。	“Read the handouts and fill in the table.” “Who started it? Why? What do people do?” “In 1992, Canada asked for a special day for the ocean.” “Marine Day comes from a trip on the ship Meiji Maru in 1876.” “Use short phrases. You don't need full sentences.”
展開2	15	グループで、海外の人に日本の海の日を紹介する英語ポスターを作らせる。入れる項目は、名前と日付・始まり（Who / When）・目的（Why）・過ごし方・世界海洋デーとのちがい1文の5つ。事実は資料プリントにあることだけを使い、数字や年は表と照らし合わせて確かめるよう指示する。	グループで役割を分け、5つの項目を入れた英語ポスターを作る。	“Make a poster about Marine Day for people from other countries.” “Write the name, the date, how it started, why, and what people do.” “Add one sentence about World Oceans Day.” “Check every year and number with your table.”
展開3	10	ポスターを教室の壁にはり、ギャラリーウォークをする。各自付せんを3枚持ち、ほかのグループのポスターに英語でコメントが質問を1つずつはらせる（I learned that ... / Why ... ?）。グループの1人はポスターの前に残り、質問に答える役にする（途中で交代）。	ほかのグループのポスターを読み、付せんに英語でコメントや質問を書く。	“Put your poster on the wall.” “Walk around and read the other posters.” “Write a comment or a question on a sticky note.” “One person in each group, stay and answer questions.”
まとめ	3	付せんを持ち帰って読み、いちばんうれしかったコメントを1つ発表させる。海の日（7月）と世界海洋デー（6月）を続けて、海について考えてみよう伝えて終わる。	もらったコメントを読み、1つを紹介する。	“Read the notes on your poster.” “Which comment made you happy?” “In June and in July, think about the sea.”

板書例

Marine Day ⇄ World Oceans Day

I Marine Day (Japan) | World Oceans Day (UN)

When? | 3rd Monday of July | June 8

Who started it? | Meiji Maru 1876 → holiday 1996 | Canada 1992 → UN 2008 (63/111)

Why? | ____ | ____

What do people do? | ____ | beach cleanups, events

ポスターに入れる5項目：name / date / how it started / why / what people do
+ one sentence about World Oceans Day

I learned that ____ / Why ____?

評価のポイント

- 2つの日の由来と目的を、資料にそって正しく表にまとめられたか。
- ポスターの年や数字が資料と食い違ってないか。
- ギャラリーウォークで、ほかのグループのポスターに英語でコメントや質問を書けたか。

つまずきへの手だて

- 読むのに時間がかかる生徒には、資料プリントの年と出来事だけに線を引かせ、表のWhen? と Who started it? から埋めさせる。
- ポスターの英文が書けないグループには、Marine Day is on ____ / It started in ____ / People ____ on this day. の型を渡す。
- コメントが書けない生徒には、I learned that ____ と I like your ____ の2つの型から選ばせる。

発展

- Discussionの問い Japan has a national holiday for the sea, but most countries do not. Why do you think Japan has one? について意見を書く。記事の日本の排他的経済水域（国土のおよそ12倍）を根拠に使ってよい。
- アクティビティ集 B4（カード）で、海外の友だちに Happy World Oceans Day! / Let's protect our ocean. のカードを書く。
- 英語ページのクイズ5問に取り組み、本文の内容を確かめる。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文 Half of Every Breath（第3・第4段落）・会話・音声
- 記事の「由来」「日本と海」の節（資料プリント用）
- アクティビティ集 B4（カード）